

項目	内容
名称	γ-グルタミル-S-アリルシステイン [英]γ-glutamyl-S-allyl-cysteine、GSAC [学名]-
概要	γ-グルタミル-S-アリルシステインは、ニンニクなどに含まれる含硫アミノ酸のひとつである。生のニンニク鱗片100 g中に0.2～0.6 g/含まれる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・分子式：C₁₁H₁₈N₂O₅S、分子量：290.34。 ・ニンニクに含まれる含硫アミノ酸のひとつである (101)。 ・生のニンニク鱗片100 g中に0.2～0.6 g含まれる (101)。
分析法	-
有効性	
ヒトでの	調べた文献の中には見当たらない。
の	消化系・肝臓 調べた文献の中には見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中には見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中には見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中には見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中には見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中には見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中には見当たらない。
	肥満	調べた文献の中には見当たらない。
	その他	調べた文献の中には見当たらない。
参考文献	(101) 食品機能性の科学 産業技術サービスセンター	